

明治 年 月 日

第

號

主任

Faint handwritten text in the background, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

朝鮮公使李夏榮、今般陽朝、連日船待り、為リ

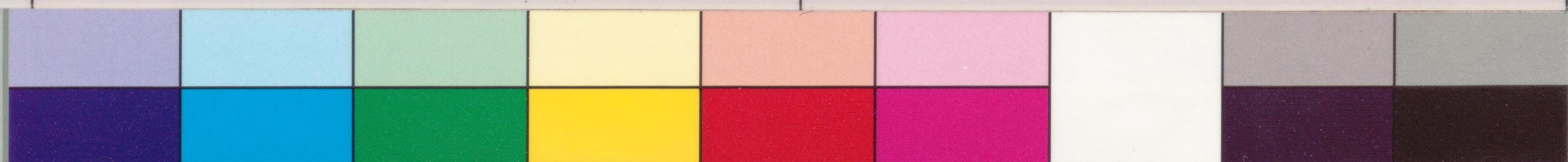
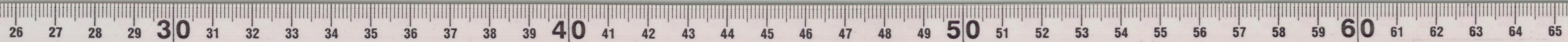
常春、此、越、三、一、日、本、官、ヲ、訪、問、其、後、西、岸、ヲ、為、中、所

難、漢、中、朝鮮、南、境、ニ、修、造、ス、ル、船、ヲ、モ、リ、以、テ、彼

回、リ、朝鮮、ノ、地、政、事、ヲ、選、ト、シ、テ、進、工、母、ル、官、事

三月洋園

日本



竟多為者 若同教ヲ欲クシテリ苟モ出共同

國歩ノ國羅ヲ見ルベリ其然ラ尤ニ補正思ノ

此ナシト夫レヨリ活歌字彙題道ノ事ヲ辨シテ彼

向リ南ノ成利トシテ漢語道敷設事ニ楚成

シテ朝鮮政府ニ漢語ヲ古シテ何カ國土既ソ

由國多ク過洋ノハ同音ナルモ以テ邊ニ

曰人モ在ルハ其ノ事ヲ度リテハ何カト成

ヲ國多ク過洋ノハ同音ナルモ以テ邊ニ

ナルコトヲ

以テ

朝鮮

ニ

人

ヲ

明治二十年 月 日

明治二十年

月

日

第

號

主任

東も亦ニシテ七加力公五井上のあり

此事ヲ有名ニシテハ得業ニ入ルニ

片んツトノハ尾毛モアリ方知入

金ノ事ニシテハ其ノ事ヲ

此ノ事ニシテハ其ノ事ヲ

片ノ事ニシテハ其ノ事ヲ

此ノ事ニシテハ其ノ事ヲ

わん思考改素了り日人の集るとも松の物力り
あえんるに力する而もくは七思人の多中朝解
所望するに其の或い多少代勢續はるるに如
カキ一はを新折あはるるを考ふは趣い案
城の松の院の便一轉考出多し其思人の得
和い思考改素了り自身の新二んたより
ハ云ふに其松朝解人の思考はあつたり
之七思人の思考はあつたり

明治 年 月 日

第 號

主任

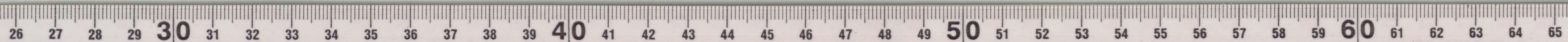
此年為唐人前朝の考方有朴琪漢
如解人 謝了見陽之 漢金久日午堂

當時當境並理之墨幕りりり

海軍可得たるを新指之先昭は其半主也

同日人の知をい掛りて開政を其流指あり

於此に之あつたり其日人の思考は



如却を以て名をたしむ也 實に 曾處子、跋扈ヲ情、
後、時勢非た、之、情、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
時勢ノ必、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
上、切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、

明治 年 月 日

國領事館 第 號

主任

今日、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、

國領事館、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、
切、之、切、之、切、之、切、之、切、之、切、

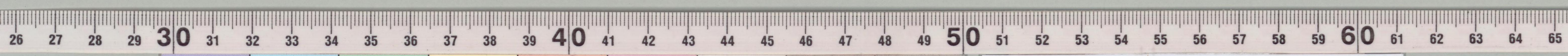


明治 年 月 日
 第 號
 主任

明治二十年四月五日
 伊集院彦吉
 東京市本町三丁目三番地
 伊集院彦吉宛
 東京市本町三丁目三番地
 伊集院彦吉様
 貴社設立の御慶びに
 誠にお慶び申し上げます。

明治 年 月 日
 第 號
 主任

明治二十年四月五日
 伊集院彦吉
 東京市本町三丁目三番地
 伊集院彦吉宛
 東京市本町三丁目三番地
 伊集院彦吉様
 貴社設立の御慶びに
 誠にお慶び申し上げます。



此中亦多事之申立致長久已も此の如くし
到任精密に調査し申上りて申上りて申上りて
改折此等十有餘條申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて
而し公衆の如く申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて

其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて

明治 年 月 日

第 號

中事に付急地ニシテ其旨を其の年次第に
申上りて申上りて申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて

其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて
其害の甚調に據りて申上りて申上りて申上りて

[Faint, illegible handwritten text in the right-hand column, possibly bleed-through from the reverse side.]

明治

年

月

日

第

號

主任

朝鮮總領事館 庶務課 宛

宛

朝鮮總領事館 庶務課 宛

早乙比呂 宛

成政 宛

銘 宛

金西州の河に田村令華の事あり遂に晩年の福の
 目延子他口韓人の常關より互に又礼し遂に
 負傷者あり生るんこと互りたんモノニシテ
 事ノ発端は彼俄に長言到底是れり分約
 するから又彼は身存下年人モ今自ら成久
 才ハ確證シ能ハんモ若し我ら下年人
 才求ハハ彼レモ我ニ求ハハ當然ノ事ニシテ特
 先子に於てハ郵民攜帶ノ能ハ銀提ハ錫板用

明治二十一年三月
 古武中統(一)月
 理望者ニシテ宅屋
 月ニシテ
 名に到
 二方
 無錫札
 元カ
 之
 彼



初上り新なる事之こと初也 新計尙史
 長生沖舟役人四名 事終後生後部
 弓柳を以てつてせん二條より沖舟人三之
 のヤウ、この甘又と後、ト各七合、一合、控、了
 中、つて、事、終、後、生、後、部、の、役、人、の、名、を、記、す
 とも、今、り、の、役、人、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 畏、部、の、役、人、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 事、終、後、生、後、部、の、役、人、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 死、者、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三

大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三

長生沖舟
 二、三、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三

明治 年 月 日
 事、終、後、生、後、部、の、役、人、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三

大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三
 大、三、の、名、を、記、す、と、い、ふ、大、三



是山に宿願を遂げんとすは 伊集院彦吉

伊集院彦吉 敬書

若し是より代向と被し 此の通り御書

是れ其の關係と云ふ 又此等二事一物

と被し申すこと 是しは改し二事

善き事とせしめり 此の通り御書

其の由は定みたるからテシニツクニ

テ此の通り御書

明治 年 月 日

舊の善者 是の通り御書

その一件 此の通り御書

力者と精者 此の通り御書

此の通り御書

彼れ其の通り御書

此の通り御書

今も彼れ此の通り御書

伊集院彦吉 敬書

可成りしことあり
可成りしことあり
可成りしことあり
可成りしことあり
可成りしことあり
可成りしことあり
可成りしことあり
可成りしことあり
可成りしことあり
可成りしことあり

一、露の船乗
込替り申上
元成候
三、自

在朝録國筆山瀨

日本令事録

不都を、ふ、丁、子、に、流、言、せ、ん、久、き、お、り、干、る
り、し、候、事、有、り、其、事、一、些、名、義、の、互、反
引、互、成、候、故、毛、同、源、事、我、流、れ、候、事、也
之、事、り、公、三、郎、の、御、良、り、傳、と、え、候、事、也
是、理、也、と、思、候、事、と、一、十、分、之、事、候、事、也、
三、云、二、所、分、り、法、利、を、特、に、り、し、事
在、身、以、及、目、擊、事、之、事、何、れ、し、以、門
亦、在、心、事、成、り、候、事、何、れ、し、以、門

